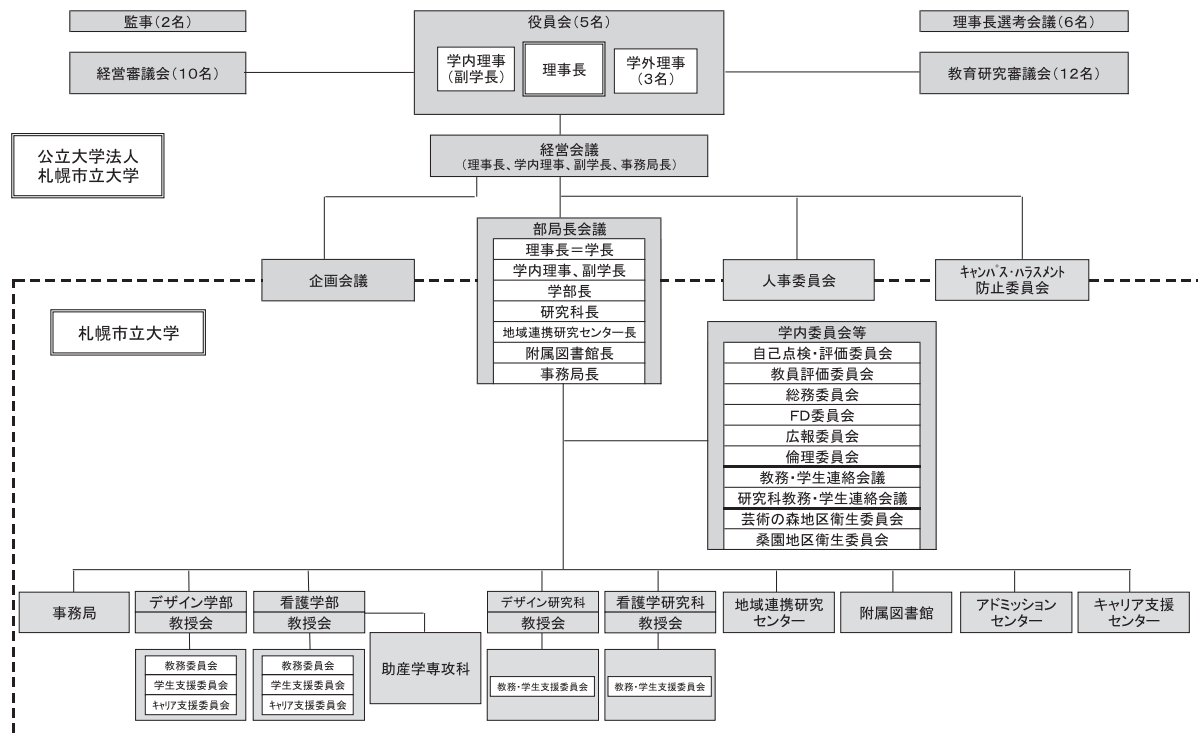




Ⅸ 学内運営の概要

1 2013年度(平成25年度)公立大学法人札幌市立大学 組織図



2 経営会議

平成25年度は16回の会議を開催した。
会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育に関する重要事項について協議を行った。

3 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月9日	(1)年度計画における重点取組項目(案)の設定について
第2回	5月8日	なし
第3回	6月5日	(1)平成24年度年度計画の実績報告にかかる点検結果について (2)平成24年度決算について
第4回	7月3日	なし
第5回	7月8日	文科省によるCOCヒアリングについて
第6回	8月19日	(1)法人評価結果案について (2)COCの取組について
第7回	9月4日	なし
第8回	10月2日	転入学の取扱いについて
第9回	11月6日	転入学の取扱いについて



回数	開催日	議題
第10回	12月4日	リサーチ・アシスタント制度の導入と要綱等の制定について
第11回	1月8日	(1)平成26年度年度計画の策定スケジュールについて (2)アドミッションセンター規則の改正について (3)JAIRO Cloud(機関リポジトリ)の導入について (4)札幌市立大学危機管理体制の整備と危機管理基本マニュアルの改正について
第12回	2月5日	(1)学術論文掲載料補助及びCOC特任教員の学内競争的資金への応募について (2)助産学専攻科ディプロマポリシーについて (3)図書館の予算(電子ジャーナル、データベース)について
第13回	2月18日	平成26年度年度計画(案)について
第14回	2月26日	平成26年度年度計画(案)について
第15回	3月5日	(1)学外からの研究員の受け入れ取扱要領の策定について (2)規則等の改正について
第16回	3月18日	(1)優先調達推進法に基づく障害者就労施設等からの物品等調達方針の策定について (2)規程等改正について (3)キャンパスの活用等に関するプラン骨子(案)について

4 学外連携企画会議

学外連携企画会議は、平成24年度に策定された第二期経営戦略に基づき平成25年度に新設された会議であり、経営戦略の3つの基本戦略のうち、産学官連携、地域貢献、国際化の推進等に関する取組を所管し、平成25年度は9回開催した。

平成25年度の主な活動としては、戦略を具体的に進めていくための実行プログラム（計画期間：平成25～29年度）を策定したほか、広報戦略に関する検討やデザイン分野と看護分野の連携強化等について協議を行った。

5 教育・研究企画会議

教育研究企画会議は、平成24年度に策定された第二期経営戦略に基づき平成25年度に新設された会議であり、経営戦略の3つの基本戦略のうち、教育研究の充実・強化に関する取組を所管し、平成25年度は9回開催した。

平成25年度の主な活動としては、戦略を具体的に進めていくための実行プログラム（計画期間：平成25～29年度）を策定したほか、教育課程の体系化を進めるため、現行のカリキュラム体系や成績評価、学修到達度の把握、ナンバリング等に関する検討を行った。

6 教授会

1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、平成25年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開



催した。

2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、平成25年度に臨時教授会2回を含む14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定、施設整備及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

教授会終了後には、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、平成25年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、平成25年度に臨時教授会3回を含む15回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定、施設整備及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

7 地域連携研究センター

地域・産学連携部門、人材育成・継続教育部門、国際交流部門、紀要編集委員会の4セクションに構成員を配置して、研究活動、地域貢献および国内外ネットワーク形成の推進を担い、活動を行った。また、運営会議（計12回開催）で課題や情報を集約した。加えて知的財産委員会任も担い、学内の知的財産に係わる管理等を行った。主な活動内容は以下のとおりである。

<地域・産学連携>

地域からの受託研究や協力依頼に対して、本学教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元することを目的に、協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し、産官学連携のきっかけを探るために、「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、産官学連携を目的とした学外向けの研究交流会を開催した。平成22年に協定を締結した北海道立総合研究機構との共催研究交流会、公開シンポジウムを初めて開催し、更なるネットワークづくりを図った。

<人材育成・継続教育>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした13コース（22コマ）の講座を、延べ698名が受講した。平成25年度年度計画に基づき、大学全体で実施する公開講座を体系化した。また、新たに、COC関連の公開講座・セミナーを本学公開講座の一環として位置づけた。

<国際交流>

第2期中期計画に基づき、大学の国際化に関する基本方針および行動計画を策定した。承德医学院への学生派遣プログラム及び華梵大学とのデザインワークショップ（受入）を実施した。その他、提携校拡大の可能性を視野に入れた海外大学の視察を実施した。



<紀要編集>

研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第8巻」を平成26年5月末に発行することとし、投稿論文について査読を行い、発行の準備をした。

<研究推進>

地域や産業界から依頼された受託研究18件、寄附金8件の受入れを行い、次年度の学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費）の公募と審査に係わる制度設計を行い、学術論文掲載料等補助の制度を新設した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を、産学官連携のシーズ創出を図るため産学官連携研究交流会及び北海道立総合研究機構との研究交流会を企画・実施した。

<知的財産委員会>

「広域大学知的財産アドバイザー派遣事業：（工業所有権情報・研修館主催）における広域大学知的財産ネットワーク」（①北海道地域中小規模大学知財ネットワーク、②異分野融合によるデザイン産学官連携広域ネットワーク）へ継続加盟した。当該事業から派遣される大学知的財産アドバイザーによる「知的財産セミナー全3回」を全学FDとして開催した。また、技術移転に関わる権利譲渡のフローを整備した。

8 附属図書館

平成25年度は全11回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館予算の考え方、後援会からの寄附、データベース・電子ジャーナル、購読雑誌の契約検討、JAIRO Cloud 導入、AV 資料の館外貸出日数の変更、等であった。

この他、公立大学協会図書館協議会北海道東北ブロック地区館会議の当番館をつとめた（9月6日開催）。芸術の森図書館では、芸術の森美術館との連動企画展を開催（10月21日～11月9日）、アートブックフェア（11月18日～12月7日）へ参加した。

9 アドミッションセンター

入学者選抜試験及びそれに伴う試験区分ごとの従事者説明会の実施、入試広報、入学者選抜方法の調査研究及び統計等に関する事業の計画的な推進を行った。

平成25年度は計9回の会議を開催し、前年度の結果の分析、入学者選抜方法の検討、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・入学者選抜試験実施要領の策定、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。また、平成27年度大学入試センター試験の変更に伴う、両学部一般選抜試験における本学の対応を決定した。

学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、高校訪問及び進学相談会等についての企画・運営を行うとともに、中学生向けの広報活動を実施した。

10 キャリア支援センター

キャリア支援センター会議は、両学部に関係するキャリア支援に係る改善・充実を目的として、平成20年4月に設置された。平成25年度は会議としては開催されなかったが、両学部のキャリア支援委員会において各学部の特性や特徴及び社会情勢に応じたキャリア支援を行った。



11 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理等に関する事項を所管しており、平成25年度は6回開催した。

平成25年度の主な活動としては、平成24年度年度計画の実績報告書（案）の作成を行ったほか、平成25年度年度計画について半期（一部の項目は四半期）ごとに取組状況の進捗管理を行った。

進捗管理の点検結果は部局長会議等へ報告し学内で共有することにより、取組の遅れている項目の改善を促すことができ、年度計画の着実な達成に向けた取組を行うことができた。

2) 教員評価委員会

平成25年度は6回の委員会のほか、ワーキングや専門部会を開催し、各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた記入要領及び申告書様式等の検証や教員評価制度の見直しを行った。

評価結果については、平成25年度末に任期満了を迎える教員の再任審査に活用し、また、研究費の追加配分にも活用した。

3) 総務委員会

平成25年度は8回の委員会を開催した。

委員会では、危機管理体制の整備及び危機管理基本マニュアルの改正について検討を行い、「改正札幌市立大学危機管理基本マニュアル骨子」をまとめたほか、施設保全計画の見直しを進め、平成27年度から10年間を計画期間として再編を行った。

また、平成28年度までに「キャンパスの活用等に関するプラン」を策定するにあたり「プラン骨子（案）」を策定した。

なお、昨年を引き続き、夏季及び冬季の節電対策について検討を行い実施した。

4) FD委員会

平成25年度、FD委員会は、教員の資質向上、情報の共有化、情報収集のため、学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を積極的に行った。委員会を10回開催し、FD活動の方針について論議するとともに、具体的な取り組みについて、内容を検討し、実施した。

平成25年度の具体的な活動として、FD委員会が主催・共催の全学FD研修会（4回）、学外研修会への教職員派遣（6回延べ14名）、本学学生及び教職員への授業評価アンケート集計結果に対する所見の公開、教員相互の授業参観等を企画・実施した。なお、学内で実施されたFD研修会の実施状況については、FDマップを作成することで整理した。

また、「北海道地区FD・SD推進協議会」に幹事校として参加し、北海道内の大学間のFD活動の交流にも関わっている。

5) 広報委員会

「戦略広報チーム」「実践広報チーム」の2つのチーム編成により計9回の委員会を開催し、機能的に活動した。また、広報委員会とは別に、広報戦略策定のため、戦略広報チームを母体として学外連携企画会議のプロジェクト的な組織として「広報戦略準備室」を設置した。

<ウェブサイト>

- ・適宜、情報提供を行った。
- ・更新作業を教職員各々から直接委託先に依頼するしくみづくりを整えた。

<大学案内等>

- ・2014大学案内を22,000部印刷し、公立大学、道内大学、札幌市などに発送した。



- ・2015大学案内、2015大学院案内、2015助産学専攻科リーフレットについて検討し、デザイン企画制作を行った。

<年報>

- ・平成24年度年報を電子データ制作し、公式サイトに掲載した。

<その他>

- ・平成26年度の広報業務に関わる業務委託の企画審査会を実施し、委託先を選定した。
- ・英語版大学紹介DVD を作成した。

【広報戦略準備室の活動】

計11回会議を開催し、以下の活動を行った。

- ・広報戦略策定の参考とするため、学外の知見者からレクチャーを2回開催した。
- ・広報戦略の策定に向けて調査・検討を行い、広報戦略案を作成した。

6) 倫理委員会

倫理委員会は研究を遂行する際に、被験者（研究協力者）等の人権擁護の観点から、研究倫理に則った十分な配慮をした研究計画になっているかを審査している。

平成25年度は原則、毎月末日を研究倫理審査申請の締切りとし、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計11回開催）。また、平成24年度から倫理委員会における審査の前段として、倫理委員が審査資料の確認をし、申請者へコメントを送付することにより、審査時間の短縮と研究倫理審査の申請から研究開始までの迅速化を図っている。年間の審査申請総数は44件であり、1回当たり平均4件の審査を実施した。審査結果は「承認」、「条件付承認」、「変更の勧告」、「非該当」のいずれかとし、「条件付承認」となった申請については、修正箇所を確認し承認する「迅速審査」を行った。

また、倫理審査の社会的透明性及び客観性を担保し、同時に申請者や委員に係るリスク管理の保全のために、平成23年度から引き続き、法律家を外部委員として委嘱し、吉岡直樹弁護士が委員として審査に加わった。

このほか、審査申請様式・手順等について、委員会で協議のうえ見直しを図り、基本資料の改訂版を作成した。

7) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、平成25年度に11回の会議を開催し、共通教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について、年度計画を見据え、かつ実際の授業運営等に即して、必要となる協議を行った。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について議論を重ねたほか、年度計画に対応した取り組みとしては、共通教育科目の効果検証、成績評価に関するFD研修会の実施、授業評価アンケートの見直し等を行った。また、毎回、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、協議を行った。

8) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、平成25年度に7回の委員会を開催し、デザイン・看護学両研究科の連携に関する事項、研究科連携科目に関する事項及び学生生活に関する事項等について、年度計画を見据え、かつ実際の授業運営等に即して、必要となる協議を行った。

具体的には、連携プロジェクト演習等の連携科目の効果検証、リサーチ・アシスタント制度の制定、博士後期課程における学位論文の取り扱いに係る学位規則の改正を行い、また、奨学金、チューター制度に関すること等について議論した。



構成員名簿

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎ 蓮見 孝 中村 恵子 林 泰男	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 事務局長
	部局長会議	◎ 蓮見 孝 中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 スーディ神崎 和代 中原 宏 林 泰男	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長 附属図書館長 事務局長
	学外連携企画会議	◎ 蓮見 孝 スーディ神崎 和代 中原 宏 林 泰男	理事長 地域連携研究センター長 附属図書館長 事務局長
	教育・研究企画会議	◎ 中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長
	人事委員会	◎ 蓮見 孝 中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 林 泰男	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	キャンパス・ハラスメント 防止委員会	◎ 蓮見 孝 中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 林 泰男	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	地域連携研究センター	◎ スーディ神崎 和代 石井 雅博 羽深 久夫 原 俊彦 矢部 和夫 山本 勝則 張 浦華 山田 良 大野 夏代 貝谷 敏子 石田 勝也 松井 美穂 太田 晴美 神島 滋子 原井 美佳 長谷川 聡 川上 敏正 上田 理子	地域連携研究センター長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 デザイン学部助教 桑園事務室長 兼 調整担当部長 事務局地域連携課長
	図書館	◎ 中原 宏 松浦 和代 武田 亘明 町田 佳世子 清水 光子 藤井 瑞恵 金子 晋也 長谷川 聡 上田 理子	附属図書館長 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 デザイン学部助教 デザイン学部助教 事務局地域連携課長
	アドミッションセンター	酒井 正幸 樋之津 淳子 ◎ 城間 祥之 石井 雅博 杉 哲夫 猪股 千代子 菅原 美樹 山田 典子 山内 まゆみ 田村 洋郷 加藤 聖治	デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	キャリア支援センター	◎ 酒井 正幸 樋之津 淳子 杉 哲夫 宮崎 みち子 川上 敏正	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 看護学部教授 桑園事務室長 兼 調整担当部長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学内委員会 常置委員会	自己点検・評価委員会	◎ 中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 吉田 和夫 宮崎 みち子 坂本 将司	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局次長 兼 経営企画課長
	教員評価委員会	◎ 蓮見 孝 中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 矢部 和夫 山本 勝則 林 泰男	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局長
	総務委員会	吉田 恵介 坂倉 恵美子 山田 典子 石田 勝也 小宮 加容子 渡邊 由加利 ◎ 林 泰男	デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 事務局長
	FD 委員会	スーディ神崎 和代 武 邑 光裕 ◎ 定廣 和香子 齊 藤 雅也 山田 良 菊地 ひろみ 村松 真澄 田村 洋郷 加藤 聖治	地域連携研究センター長 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	広報委員会	◎ 中原 宏 齋 藤 利明 山本 勝則 吉川 由希子 片山 めぐみ 福田 大年 田中 広美 上田 理子	附属図書館長 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 事務局地域連携課長
	倫理委員会	◎ 樋之津 淳子 石崎 友紀 原 俊彦 内田 雅子 宮崎 みち子 守村 洋 片山 めぐみ 上田 理子	看護学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 事務局地域連携課長



区分	委員会等	委員・構成員		
		教職員名	所属・職位等	
連絡調整会議	学部間 教務・学生連絡会議	◎樋之津 淳子 羽深 久夫 原 俊彦 細谷 多聞 内田 雅子 定廣 和香子 田村 洋郷 加藤 聖治	看護学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長	
	研究科間 研究科教務・学生連絡会議	◎中村 恵子 城間 祥之 中原 宏 松浦 和代 田村 洋郷 加藤 聖治	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン研究科長 附属図書館長 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長	
衛生委員会	芸術の森地区衛生委員会	上遠野 敏 武田 亘明 松井 美穂 ◎坂本 将司	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 事務局次長 兼 経営企画課長	
	桑園地区衛生委員会	河原田 まり子 三上 智子 田仲 里江 ◎川上 敏正	看護学部教授 看護学部講師 看護学部助教 桑園事務室長 兼 調整担当部長	
学部委員会	デザイン学部	教務委員会	◎細谷 多聞 柿山 浩一郎 町田 佳世子 山田 良 福田 大年 金子 晋也 須之内 元洋	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教 デザイン学部助教
		学生支援委員会	◎羽深 久夫 上遠野 敏 原 俊彦 上田 裕文 大淵 一博 小宮 加容子 杉本 達應	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師
		キャリア支援委員会	◎杉 哲夫 石井 雅博 齊藤 雅也 石田 勝也 上田 裕文 小宮 加容子 杉本 達應 福田 大年	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師



区分	委員会等	委員・構成員		
		教職員名	所属・職位等	
学部委員会	看護学部	教務委員会	◎内田 雅子 河原田 まり子 貝谷 敏子 清水 光子 吉川 由希子 田中 広美 原井 美佳 藤井 瑞恵 工藤 京子 多賀 昌江 坂東 奈穂美 鈴木 ちひろ 横川 亜希子	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手 看護学部助手
		学生支援委員会	◎定廣 和香子 川村 三希子 菅原 美樹 村松 真澄 太田 晴美 山本 真由美 田仲 里江 柏倉 大作 御厩 美登里 星 幸江	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手 看護学部助手
		キャリア支援委員会	◎宮崎 みち子 大野 夏代 神島 滋子 櫻井 蘭子 三上 智子 檜山 明子 小田嶋 裕輝	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助手
研究科委員会	デザイン研究科	教務・学生支援委員会	◎中原 宏 石井 雅博 羽深 久夫 望月 澄人 矢部 和夫 齊藤 雅也 町田 佳世子 三谷 篤史	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師
	看護学研究科	教務・学生支援委員会	◎松浦 和代 猪股 千代子 川村 三希子 菊地 ひろみ 守村 洋	看護学部教授 看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授

◎印: 所管部局長等



12 FD・SD 活動

FD 活動 年間活動概要

(単位:名)

全学FD・SD		研修会名(講師)	場所	参加者数
5月15日 5月30日 6月12日	FD/SD	知財ミニセミナー(知的財産アドバイザー 丞村宏氏)	5/15 桑園:講義室1 5/30 芸森:大会議室 6/12 芸森:理事会室	20
7月17日	FD/SD	ソーシャル・メディアとどう向かいあうのか? 学生・教職員のリスク・マネジメント(武邑光裕教授)	芸森:大講義室 桑園:講義室1	75
8月1日	FD	グループ演習型授業の成績評価に関するワークショップ	桑園:大講義室、 各教室	62
8月27日	FD	2013年度札幌市立大学研究交流会	芸森:C棟1階、 スカイウェイ	80
9月18日	FD	平成25年度 地(知)の拠点整備事業:ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業について(中原宏教授)	芸森:大講義室 桑園:講義室1	93
9月20日	FD	成績評価の基本とグループ演習型授業の成績評価について(帝京大学 井上史子准教授)	桑園:講義室1 芸森:大講義室 ※遠隔で配信	46
11月20日	FD	金沢工業大学の初年次からのキャリアデザインとアクティブラーニング -自ら考え行動する技術者・社会人の養成プログラムとその仕掛け-(金沢工業大学 藤本元啓教授)	芸森:大講義室 桑園:講義室1 ※遠隔で配信	56
1月15日	FD/SD	芸術系大学・学部におけるデザイン産学連携契約の現状と課題(知的財産アドバイザー 丞村宏氏)	芸森:大講義室 桑園:講義室1 ※遠隔で配信	19
2月6日	FD	COCカリキュラムについて(細谷多聞教授)	芸森:大講義室 桑園:講義室1 ※遠隔で配信	53
3月3日	FD	SCU=D×Nを語ろう「学部連携演習」のこれまで・これからpart3(学部連携演習をテーマとするワークショップ)	桑園:大会議室、 各教室	50



(単位:名)

デザイン学部・研究科 FD・SD		研修会名(講師)	場所	参加者数
5/13-7/8 全8回	FD/SD	統計解析の応用(原田昭特任教授)	レクチャールーム	10
5月22日	FD	デザイン学部 コースプレゼンテーション(中原教授、 柿山准教授、福田講師、吉田(和)教授)	階段教室	36
10月1日	FD	TAの心構えとTA受け入れについて (城間祥之教授)	レクチャールーム	3
12月11日	FD	学生カウンセラーと語ろう(デザイン学部学生カウ ンセラー渡邊紀子氏)	大会議室	21
1月22日	FD	新カリキュラム導入に向けたデザイン学部教員ワー クショップ	大会議室	31

(単位:名)

看護学部・研究科 FD・SD		研修会名(講師)	場所	参加者数
6月10日	FD	S C U看護キャリアデータベースの活用と今後の課 題(内田教授、村松准教授、三上講師)	コンピュータ室1	14
8月19日	FD	シミュレーション学習時のインストラクションスキ ル(マイアミ大学医学部 Ivette Motola准教授)	大講義室、シミュレ ーションラボ	46
9月6日	FD	OSCE を通した看護教育におけるコミュニケーション スキルの向上(劇団イナダ組 稲田博氏)	講義室4	35
10月31日	FD	学部・大学院教育におけるシミュレーション学習の実 際とその効果(ピッツバーグ大学Richard Henker教授)	大講義室	14
2月10日	FD	看護学演習・実習中の対人賠償事故対策における今後 の課題(札幌星空法律事務所 弁護士 渡邊太郎氏)	講義室4	30
3月6日	FD	模擬患者参加型演習とOSCEの振り返り—効果的な フィードバック—(渡邊講師、坂東助教)	講義室5	44

(単位:名)

SD	研修名	形態	受講者数
4月5日、15日	新採用職員研修	内部	4
4月25日	接遇マナーワンランクアップ研修	外部	1
6月18日	キャリアバンク・東洋実業グループ 職員研修 人を最大限に活 かす! キャリア・コーチングの実践	外部	1



SD	研修名	形態	受講者数
6月29日～30日	(公財)大学セミナーハウス 職員研修 第28回大学職員セミナー 大学職員の挑戦と実践	外部	1
7月1日～11月30日	(株)オービックビジネスコンサルタント 職員研修 2013年度社 会保険セミナーオンライン講座	外部	1
7月17日～19日	(一社)公立大学協会 職員研修 平成25 年度公立大学協会 公立 大学職員セミナー(7/17～19)	外部	2
7月19日	(公財)日本生産性本部 職員研修 学校法人における教職員の人 事評価・賃金制度再構築の実務セミナー	外部	1
8月1日～2日	札幌商工会議所 職員研修 女性管理者研修	外部	1
8月1日～3日	平成25 年度就職・キャリア支援研修会〔基礎コース〕	外部	1
8月2日～3日	高等教育問題研究会「大学人力」養成チーム職員研修 第23回大 学人コミュニケーション力養成セミナー	外部	1
8月7日～9日	(一社)公立大学協会 職員研修 平成25年度公立大学協会 公立 大学法人会計セミナー	外部	1
8月21日	キャリアバンク・東洋実業グループ 職員研修若手・中堅社員の ための！仕事管理力の向上と「働き方」変革講座	外部	2
9月25日	キャリアバンク・東洋実業グループ 職員研修 ビジネスに役 立つ！ロジカルシンキング習得講座	外部	2